LIXIL TOEX

アーキフラン　ワイドタイプ　基本 取付説明書

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

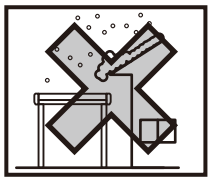
安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。
一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜施工の前に＞

注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●当製品は簡易型車庫です。物置・遊び場あるいは住居の一部等への転用を目的として、みだりに改造・変更をしないでください。
●本製品は積雪地域用600タイプで積雪（新雪）20cm以下での地域用です。
●本製品は地面設置専用です。2階以上の高所に取付けると強風により製品が破損するおそれがあります。
●崖などの高低差のある場所には設置しないでください。
●建物の屋根から落雪を直接受けない位置に設置してください。
●強風地域、特に崖上、屋上、風の通り道上等の施工は避けてください。
●給湯器や暖房機等の熱排気が製品内にこもるような場所に施工しないでください。排気による中毒のおそれがあります。
●傾斜地に設置する場合は、低い場所の埋込み深さを確保してください。



ポイント

●給湯器や暖房機等の熱排気が製品に当たらないように施工してください。排気による塗装劣化・剥離（はくり）のおそれがあります。
●製品の強度、性能を低下させないために、取付説明書の順序通りにして組付けてください。

＜基礎工事について＞

注 意

●基礎部の埋込み深さは製品ごとに決めていますが、現場によって（軟弱な地盤等）基礎部のコンクリートの量（体積）を十分配慮してください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
●柱内の水抜きができるよう、基礎には必ず砕石等を敷き、柱と基礎の付け根に水抜き穴（φ6）をあけてください。
柱内の水が凍結膨張し、柱が破損するおそれがあります。
●地下埋設物（給排水管、電線管など）に影響を与えないように、ご注意ください。

ポイント

●モルタルやコンクリートには、塩分を含む砂（海砂）および塩素系強アルカリのコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤等）は使用しないでください。使用するとアルミ等の金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●モルタルやコンクリート等が製品の表面に付着した場合は、速やかに拭取ってください。シミやムラ等の外観不良の原因になります。

＜施工上のご注意＞

注 意

●ボルト、ネジは当社指定品を指定本数使用し、ゆるまないように締付け固定してください。
●アルミ製品が亜鉛、ステンレス以外の金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造や、指定箇所以外の穴加工はしないでください。
●水漏れのおそれがありますので、指定の箇所にシーリングをしてください。
●シリコーンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業（株）	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン（合）	トスシール380
東レ・ダウコーニング（株）	SE960

●製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
・φ4ネジ　：2.5N·m±0.5N·m（25±5kgf·cm）
・φ5ネジ　：3.0N·m±0.5N·m（30±5kgf·cm）
・M6ネジ　　：5.0N·m±0.5N·m（50±5kgf·cm）
・M8ボルト　：13.0N·m±0.5N·m（130±5kgf·cm）
・M10ボルト：24.5N·m±0.5N·m（245±5kgf·cm）

ポイント

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行ってください。
・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
●「使用上の注意」ラベルを貼っている柱に竪樋を取付けると、表示が見えなくなります。竪樋を取付けない側に表示ラベルを向けてください。
●製品についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は、補修塗料で補修してください。

＜施工の後に＞

ポイント

●取扱説明書はお施主様にお渡しください。

1. 梱包明細表

【1】600タイプ ワイド標準柱セット

名　　称	略　　図	員　数	
		左	右
600タイプ ワイド標準柱		1	1
吊部材		1	1
竪樋 L=1900 φ42		1	1
竪樋 L=1400 φ42		1	1
化粧パネル止水パッキンセット		1	1

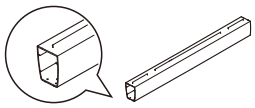
【2】600タイプ ワイドロング柱セット

名　　称	略　　図	員　数	
		左	右
600タイプ ワイドロング柱		1	1
吊部材		1	1
竪樋 L=2300 φ42		1	1
竪樋 L=1600 φ42		1	1
化粧パネル止水パッキンセット		1	1

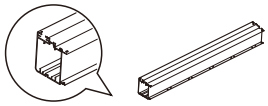
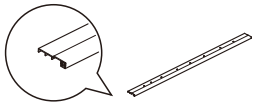
【3】レギュラー・ワイド垂木セット

名　　称	略　　図	員　数			
		L50		L58	
		3本入	4本入	3本入	4本入
垂木		3	4	3	4
垂木カバー		3	4	3	4

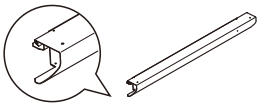
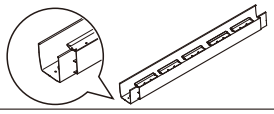
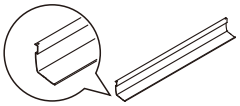
【4】ワイド 中間梁セット

名　　称	略　　図	員　数			
		W52		W58	
		2本入	3本入	2本入	3本入
ワイド中間梁		2	3	2	3

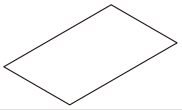
【5】ワイド 側枠セット

名　　称	略　　図	員　数			
		L50		L58	
		左	右	左	右
ワイド側枠		1	1	1	1
側枠カバー		1	1	1	1

【6】ワイド 幅セット

名　　称	略　　図	員　数	
		W52	W58
ワイド前枠		1	1
ワイド後枠		1	1
ワイド後枠補強材		1	1

【7】屋根材セット

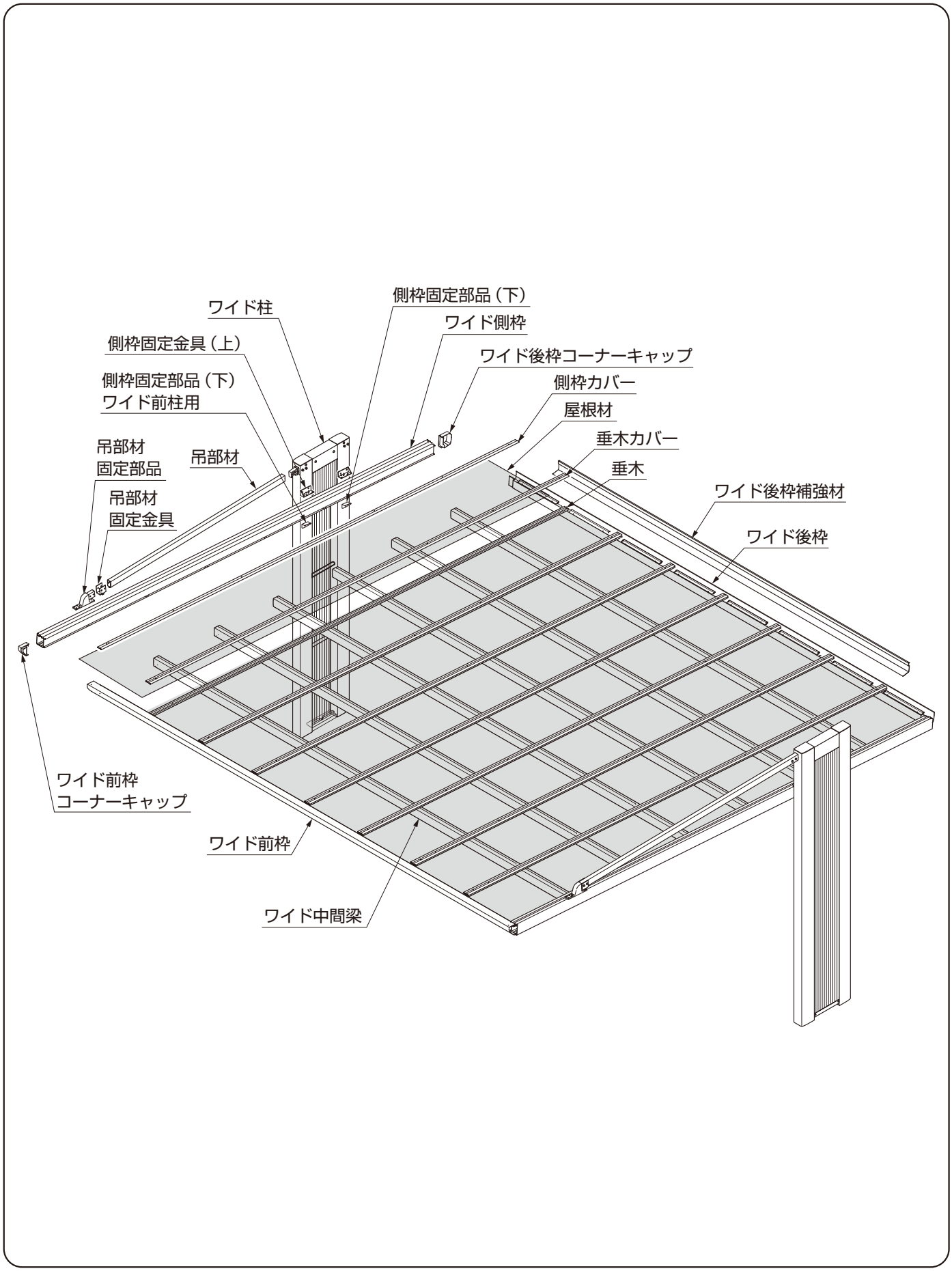
名　　称	略　　図	員　数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

【8】ワイドタイプ部品セット

名　称	略　図	員　数
吊部材固定金具		2
吊部材固定部品（側枠側）		2
ワイド側枠固定金具（上）前		左右各1
ワイド側枠固定金具（上）後		左右各1
側枠固定部品（下）		左右各1
側枠固定部品（下）ワイド前柱用		左右各1
ワイド側枠裏板（柱固定部）		2
側枠裏板（吊部）		2
ワイド後枠コーナーキャップ		左右各1
ワイド前枠コーナーキャップ		左右各1
屋根材緩衝ウレタン		75
ドレンエルボセット		2
サドルA		6
サドルB		6
アタッチメント		2
エルボ		4

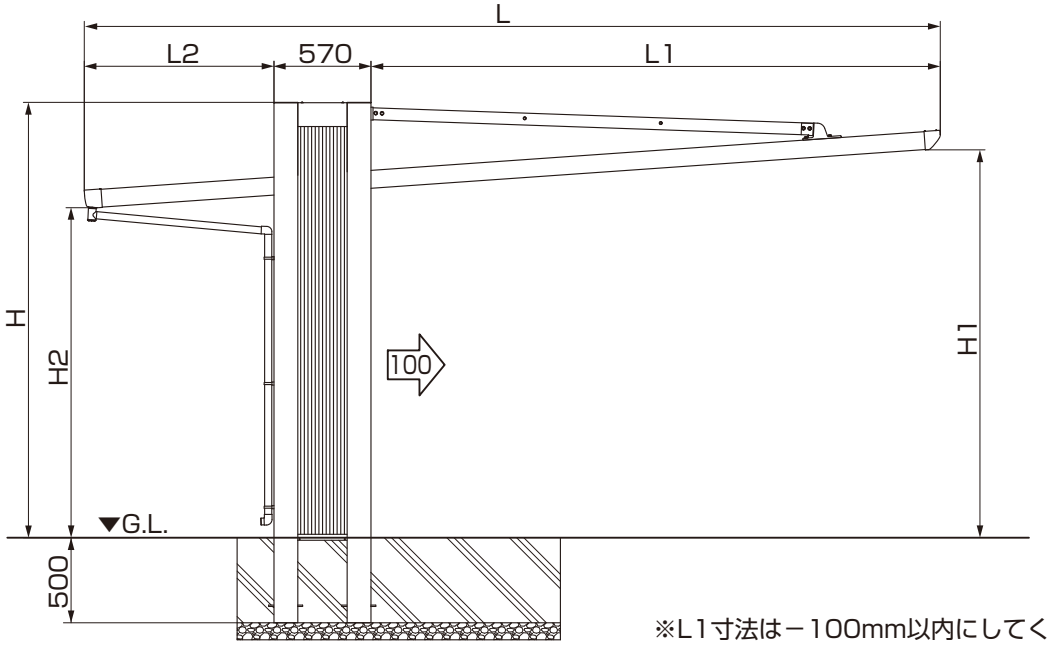
名　称	略　図	員　数
パッキン		4 （余り2）
穴ふさぎ		2 （不使用）
止め水シート		9
アンカー棒		4
接着剤		2
側枠パッキン		2
【8-1】M8×18六角ボルト Wセムス		8
【8-2】M8×25六角ボルト Wセムス		10
【8-3】M8×25六角ボルト（ネジロック付）		2
【8-4】M10×60六角ボルト		4
【8-5】M10×50六角ボルト		4
【8-6】M10用バネ座金		8
【8-7】M10用平座金		16
【8-8】M10用六角袋ナット		8
【8-9】φ4×19ナベドリルネジ		10
【8-10】φ5×16サラドリルネジ		10
【8-11】φ5×30サラドリルネジ		10
【8-12】φ5×13ナベドリルネジ（ゴム付）		79
【8-13】φ4×10 ワッシャーヘッドネジ 2種		330
【8-14】φ4×10 ワッシャーヘッドネジ 2種（ゴム付）		88
【8-15】M6×25トラス小ネジ		4
【8-16】φ4×10 トラスタッピンネジ 2種		48
【8-17】φ5×40ナベドリルネジ（ゴム付）		8
【8-18】φ4×13ナベドリルネジ		38
【8-19】φ4×12サラタッピンネジ 3種		4
取付説明書〈D595〉	–	1
取扱説明書〈UD095〉	–	1

2. 各部名称



D595_201410A

3. 基本寸法



※L1寸法は－100mm以内にしてください。

図3-1　側面図

図3-2　正面図

表3-1

呼称	高さ	H	H1	H2	L	L1	L2	W	W1	W2	N
52-50	標準	2658	2379	2039	5031	3346	1115	5143	4832	4942	8
	ロング	2958	2679	2339	5031	3346	1115	5143	4832	4942	8
52-58	標準	2658	2418	2025	5782	3897	1315	5143	4832	4942	8
	ロング	2958	2718	2325	5782	3897	1315	5143	4832	4942	8
58-50	標準	2658	2379	2039	5031	3346	1115	5747	5436	5546	9
	ロング	2958	2679	2339	5031	3346	1115	5747	5436	5546	9
58-58	標準	2658	2418	2025	5782	3897	1315	5747	5436	5546	9
	ロング	2958	2718	2325	5782	3897	1315	5747	5436	5546	9

4. 基礎の施工

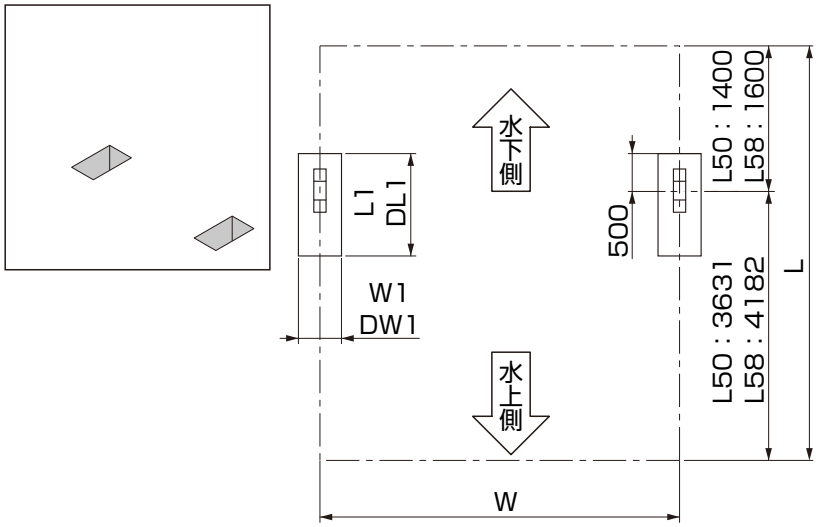
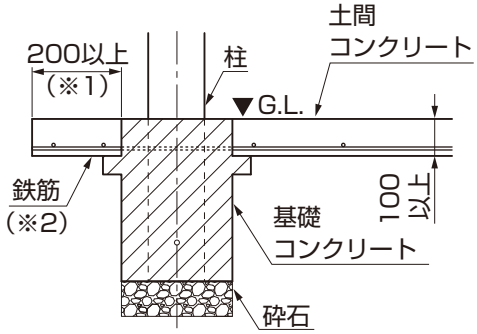


図4-1　基礎位置



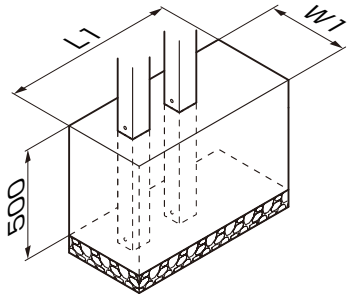


図4-2　土間コンなしの場合

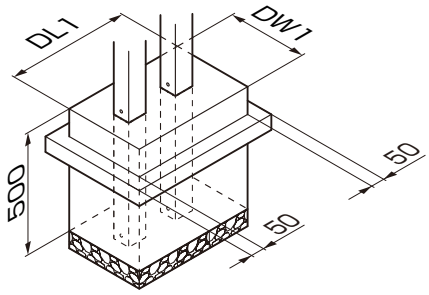


図4-3　土間コンクリート併用基礎の場合

表4-1　基礎寸法施工表

サイズ	基礎寸法								柱埋込み位置		
	土間コンなし				土間コンクリート併用基礎				間口	奥行	
	W1		L1		DW1		DL1				
	標準	ロング	標準	ロング	標準	ロング	標準	ロング	W	L	柱間移動範囲
W52−L50	1000		2000		1150		1150		5042	5031	水上側に100mmまで移動可能
W52−L58	1350		2000		1250		1300		5042	5782	
W58−L50	1150		2000		1200		1200		5646	5031	
W58−L58	1450		2000		1300		1350		5646	5782	

①上図と表4-1を参照し、柱の埋め込み位置を出し、基礎位置を墨出してください。

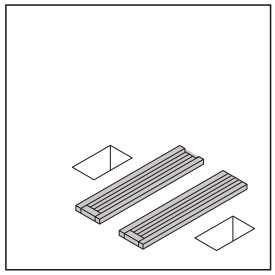
注 意

●柱移動は当社指定範囲内にしてください。

ポイント

●基礎上面と土間コンクリートの縁端距離は200mm以上になるようにしてください。(※1)
●土間コンクリートには、鉄筋を敷設してください。(※2)
●構造計算書を添付して建築確認申請を行なっている場合、構造計算書の基礎寸法で施工してください。

5. ワイド柱の組立て



ポイント

●側枠固定部品（下）ワイド前柱用と側枠固定部品（下）はツメの高さが異なります。
注意して取付けてください。
●穴がφ6になるように広げる加工をしてください。

【側枠固定部品（下）ワイド前柱用】

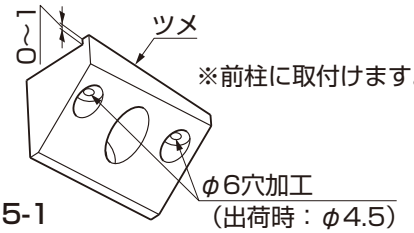


図5-1

【側枠固定部品（下）】

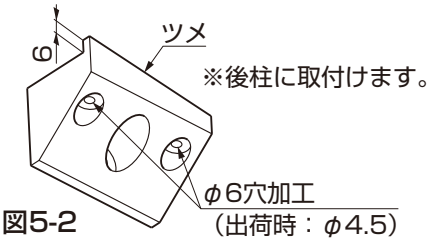
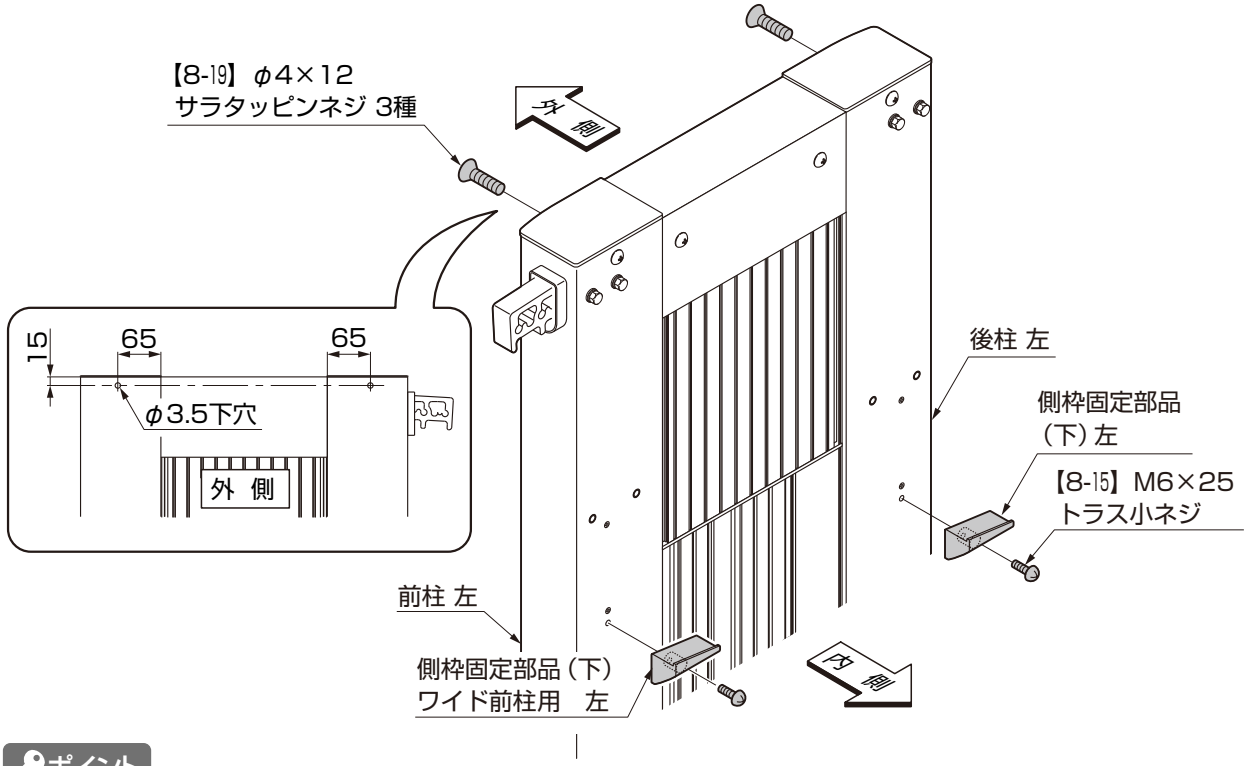


図5-2



ポイント

●ワイド柱と側枠固定部品（下）には前後左右があります。前後左右の向きに注意して取付けてください。

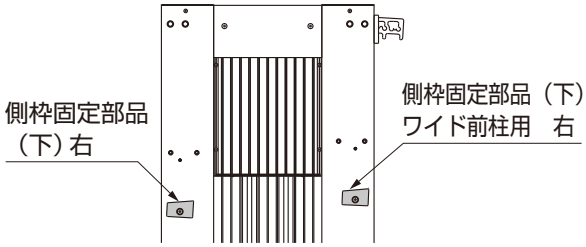


図5-3　ワイド柱 右

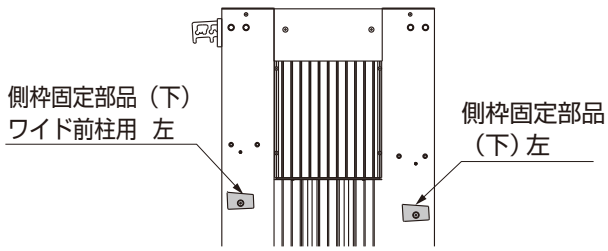
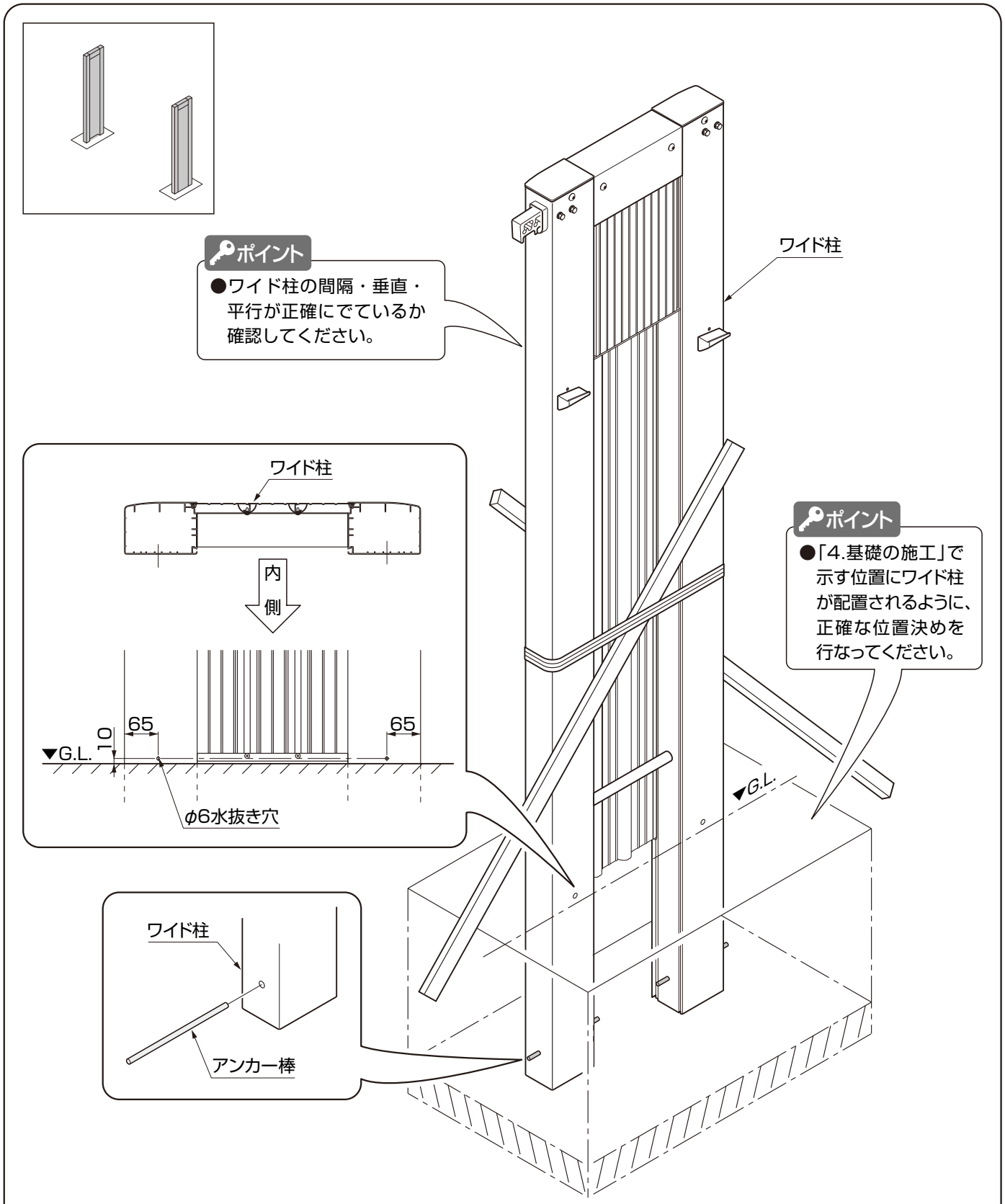


図5-4　ワイド柱 左

①側枠固定部品（下）ワイド前柱用と側枠固定部品（下）に穴加工をしてください。（図5-1、図5-2参照）
②側枠固定部品（下）ワイド前柱用と側枠固定部品（下）をワイド柱の内側に【8-15】で取付けてください。
③ワイド柱にφ3.5の穴をあけて【8-19】を取付けてください。

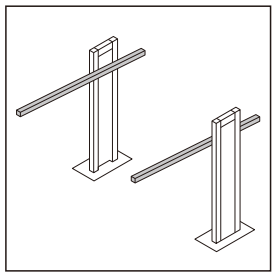
6. ワイド柱の建込み



①アンカー棒をワイド柱の下部に差込んでください。
②ワイド柱にφ6の水抜き穴をあけてください。
③ワイド柱を基礎に建込んでください。

D595_201410A

7. ワイド側枠の取付け



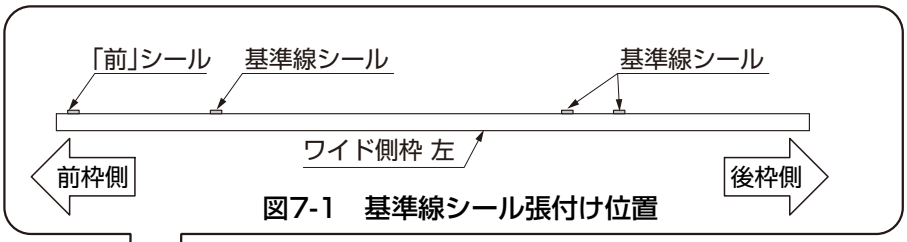
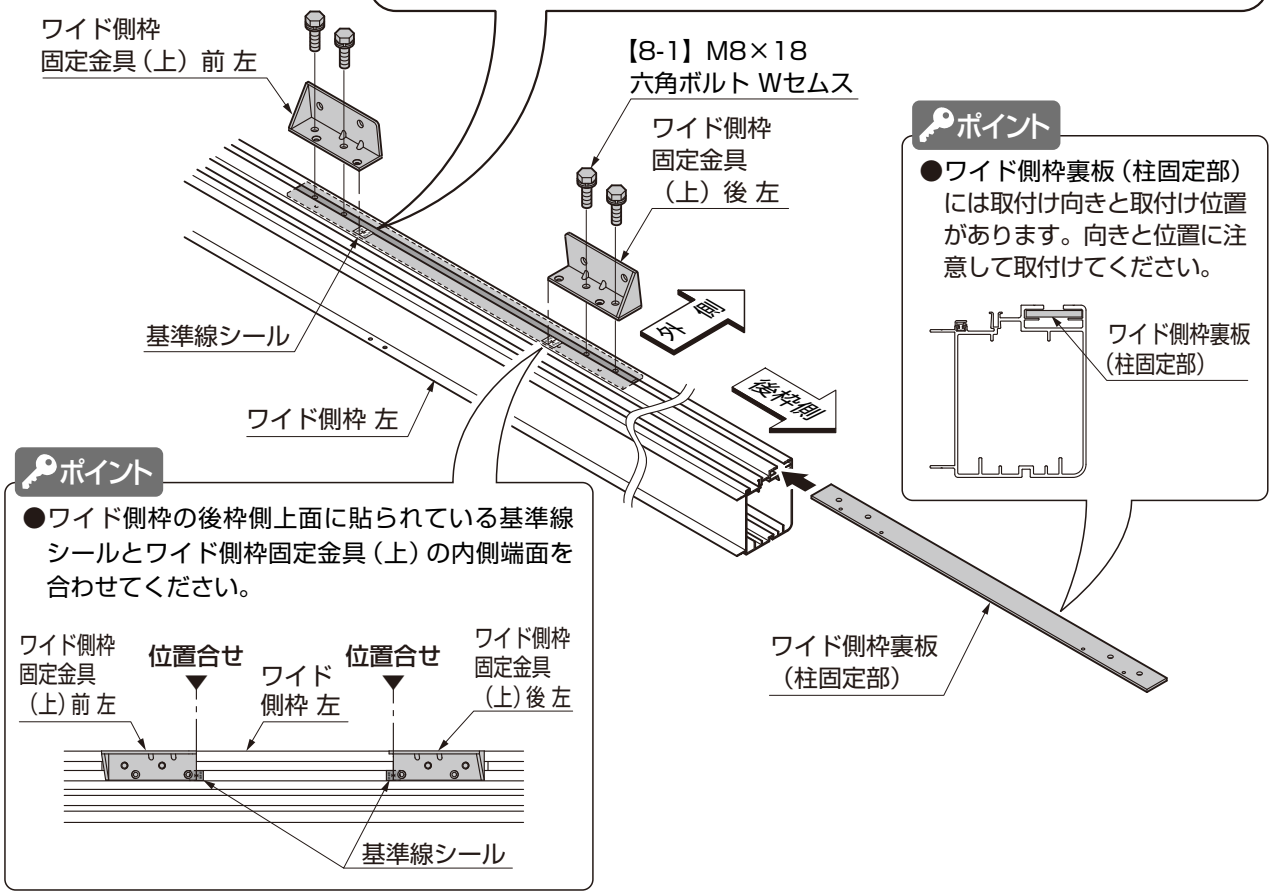


図7-1　基準線シール張付け位置

7-1　ワイド側枠の組立て



ポイント

●ワイド側枠固定金具（上）には前後左右があります。前後の向きに注意して取付けてください。

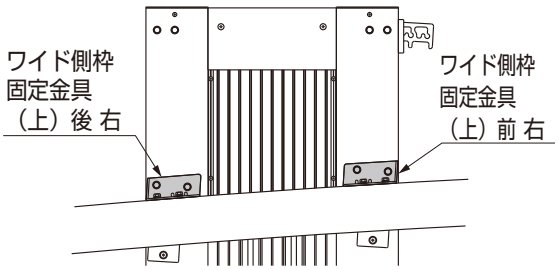


図7-2　ワイド柱 右

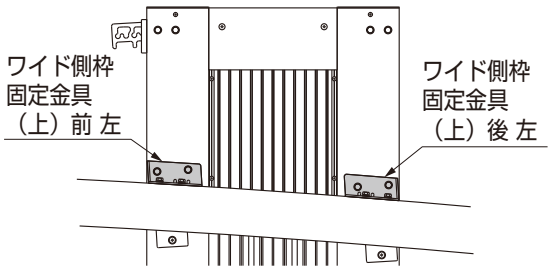
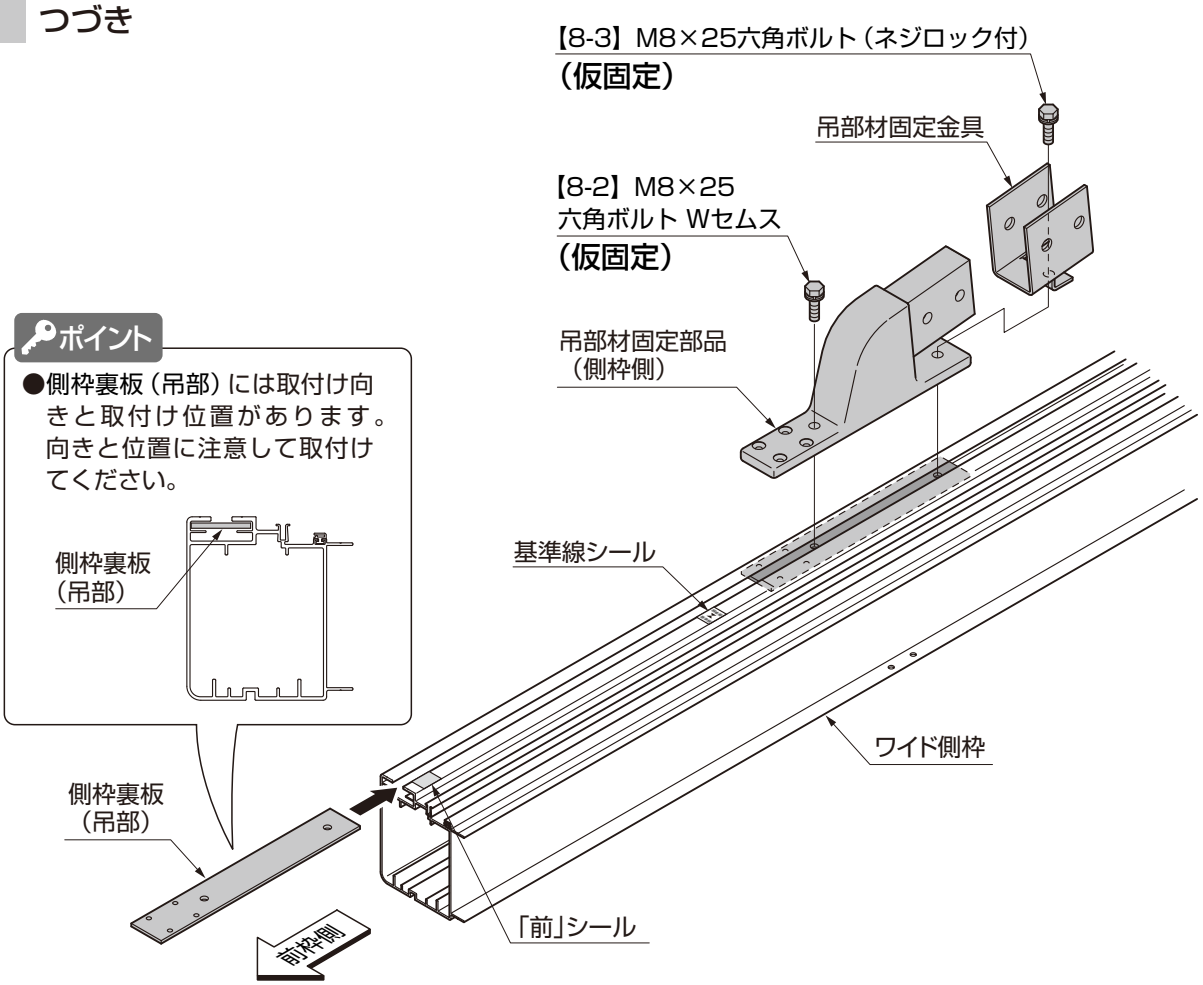


図7-3　ワイド柱 左

①ワイド側枠の後枠側にワイド側枠裏板（柱固定部）を挿入してください。
②ワイド側枠固定金具（上）前とワイド側枠固定金具（上）後をワイド側枠裏板（柱固定部）に【8-1】で取付けてください。

7. （つづき）

7-1 つづき



③側枠裏板（吊部）をワイド側枠の前枠側に挿入してください。
④吊部材固定金具と吊部材固定部品（側枠側）を側枠裏板（吊部）に【8-2】、【8-3】で仮固定してください。

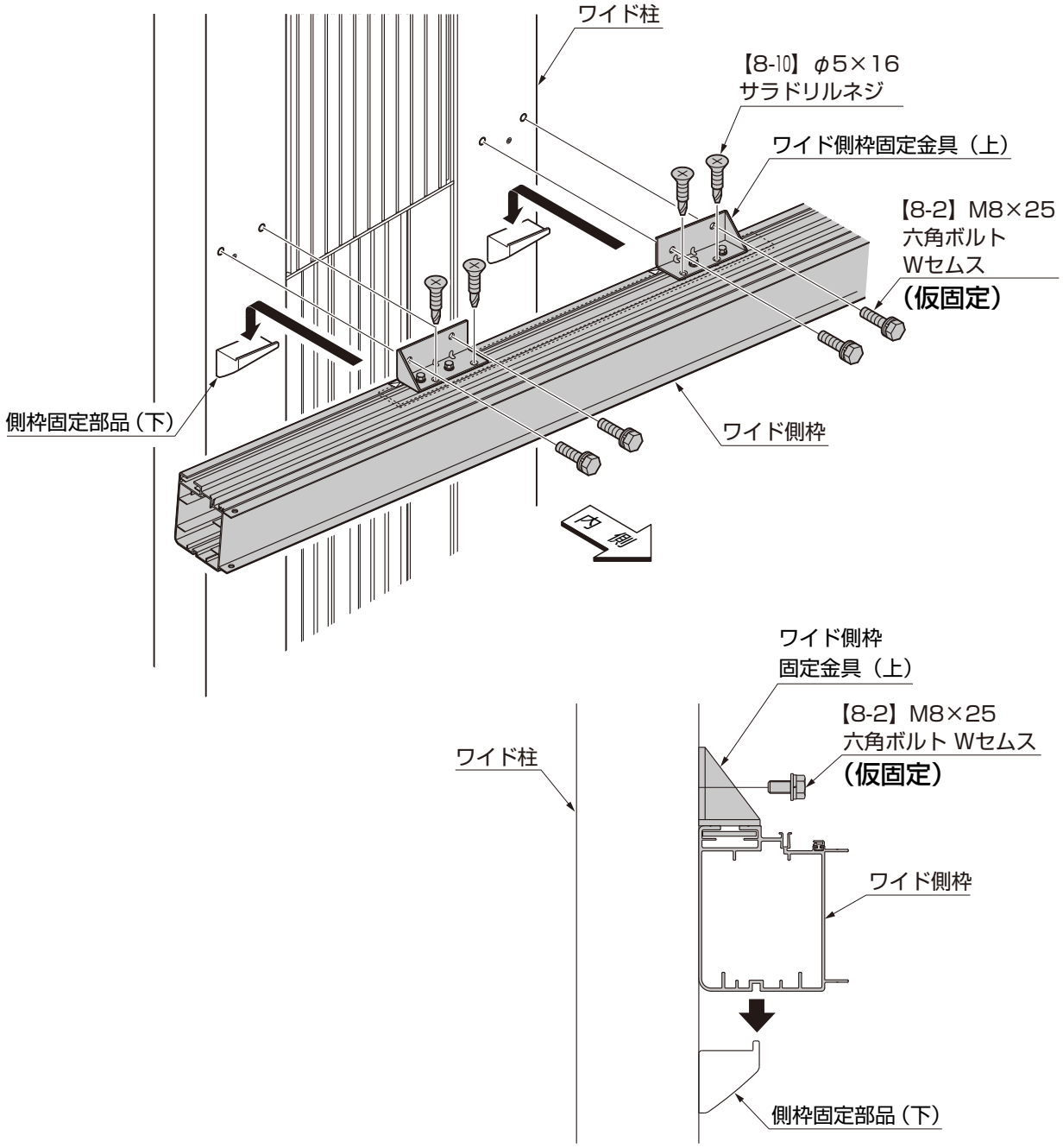
メモ

D595_201410A

7-2 ワイド側枠の取付け

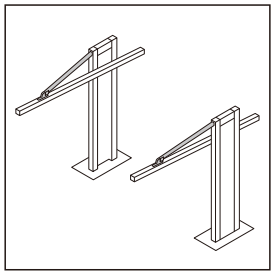
⚠注 意

●作業は必ず2名以上で行ってください。



①ワイド側枠を側枠固定部品（下）にのせ、ワイド柱に【8-2】で仮固定してください。
②ワイド側枠を側枠固定部品（下）の上にすき間なくのせたことを確認してください。
③ワイド側枠固定金具（上）をワイド側枠に【8-10】で固定してください。
④もう片方のワイド側枠も同様に取付けてください。

8. 吊部材の取付け



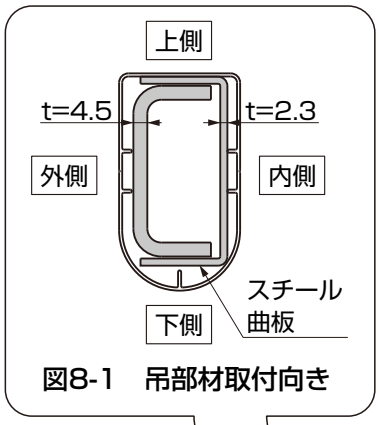
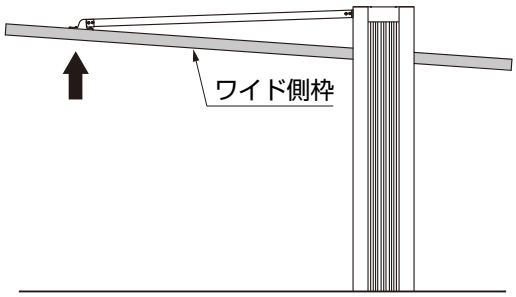


図8-1　吊部材取付向き

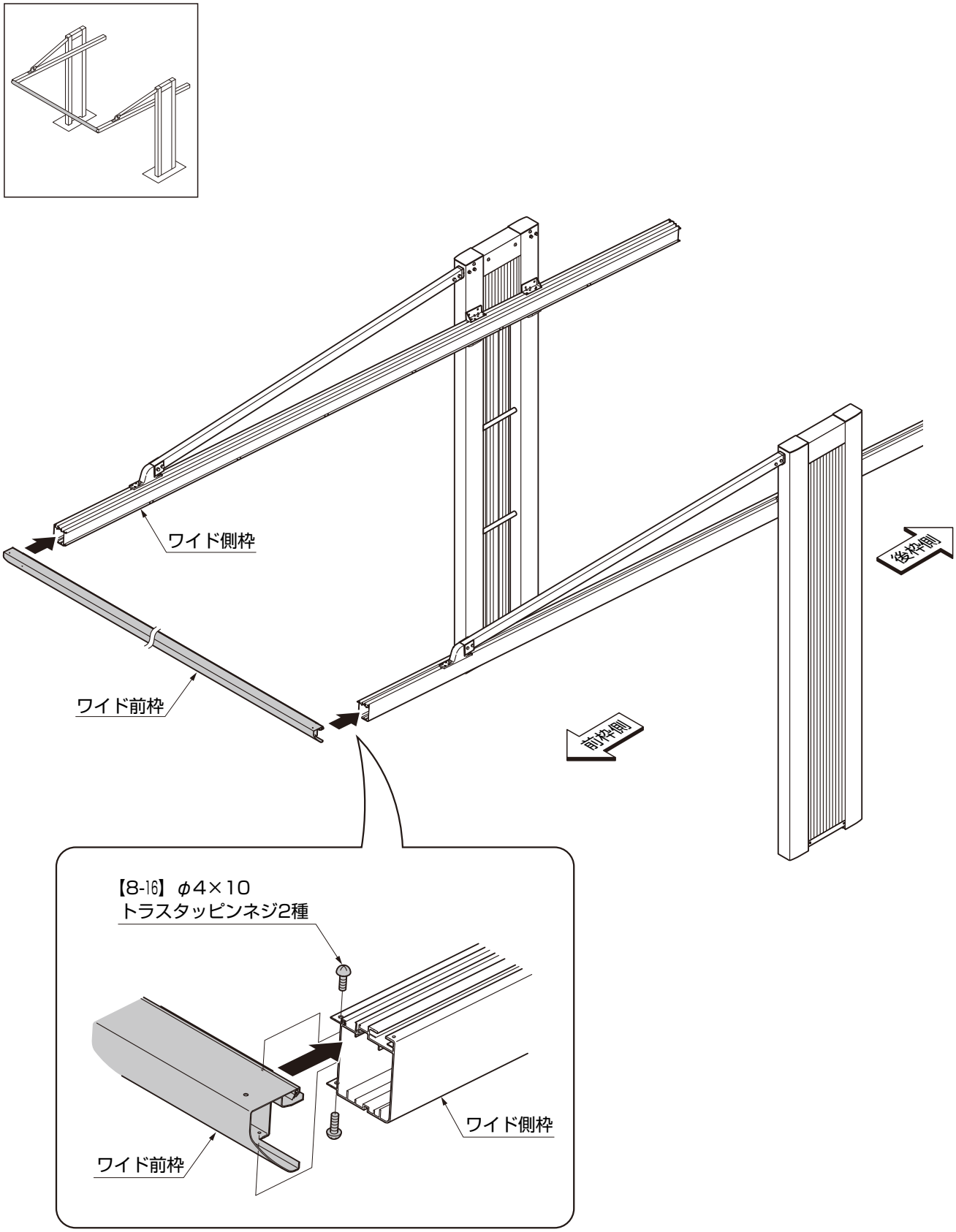
吊部材固定材
【8-7】M10平座金
【8-5】M10×50六角ボルト
吊部材
外側
【8-8】M10袋ナット
【8-6】M10バネ座金
【8-7】M10平座金
内側
【8-7】M10平座金
【8-4】M10×60
六角ボルト
ワイド側枠
前枠側
【8-8】M10袋ナット
【8-6】M10バネ座金
【8-7】M10平座金
吊部材固定部品
（側枠側）

ポイント
●ワイド側枠をあげた状態で固定してください。



①吊部材を吊部材固定材に差込み、【8-5】、【8-6】、【8-7】、【8-8】で取付けてください。
②吊部材を吊部材固定部品（側枠側）に差込み、【8-4】、【8-6】、【8-7】、【8-8】で取付けてください。

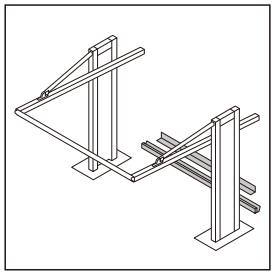
9. ワイド前枠の取付け



①ワイド前枠をワイド側枠に【8-16】で取付けてください。

D595_201410A

10. ワイド後枠補強材の取付け



10-1 ワイド後枠補強材の加工

図10-1　W52の場合

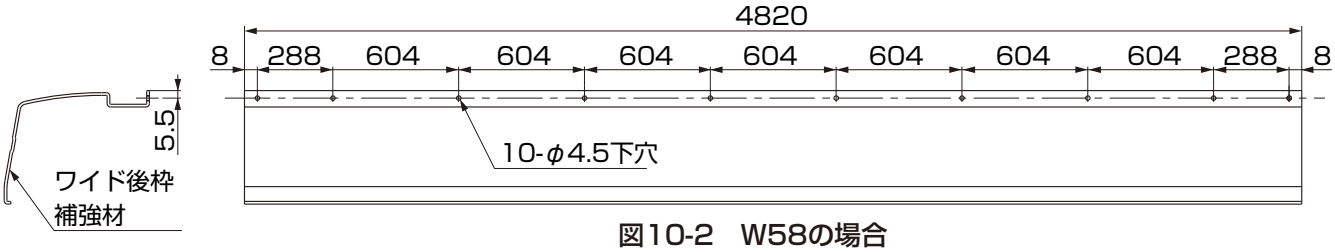
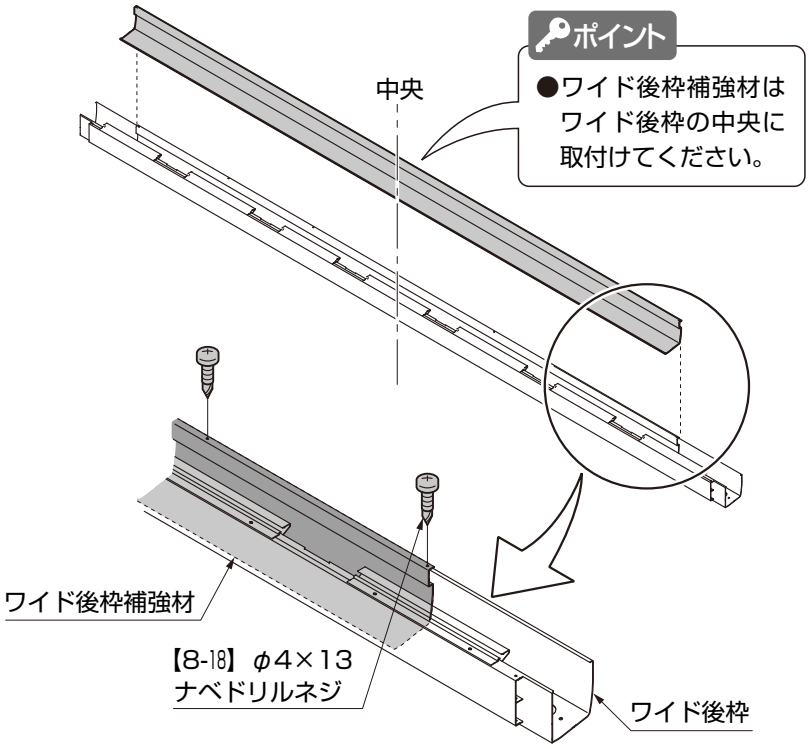
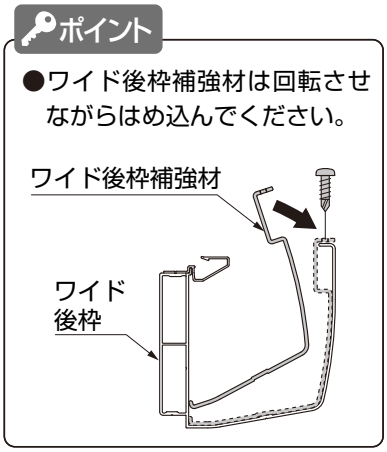


図10-2　W58の場合

①ワイド後枠補強材にφ4.5の下穴をあけてください。

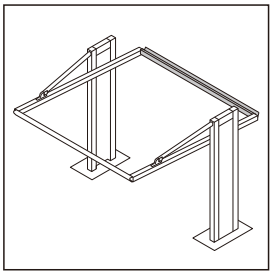
10-2 ワイド後枠補強材の取付け



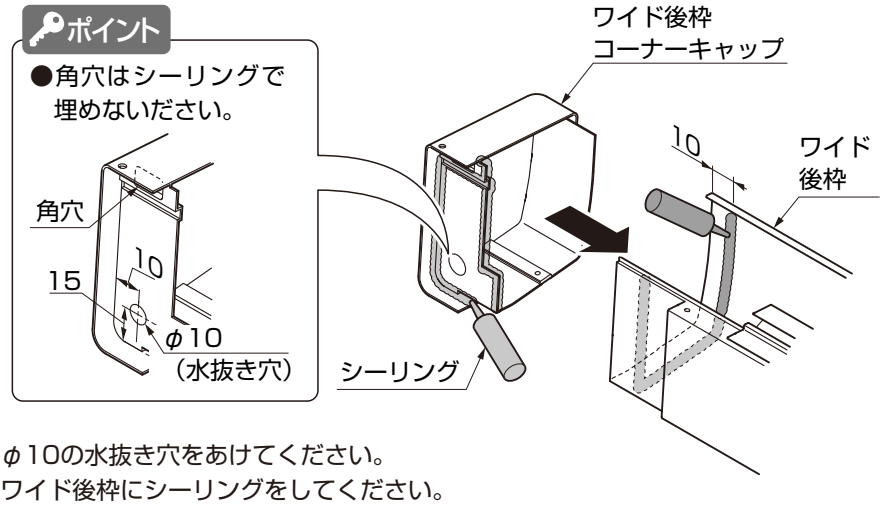


①ワイド後枠補強材をワイド後枠に【8-18】取付けてください。

11. ワイド後枠の取付け

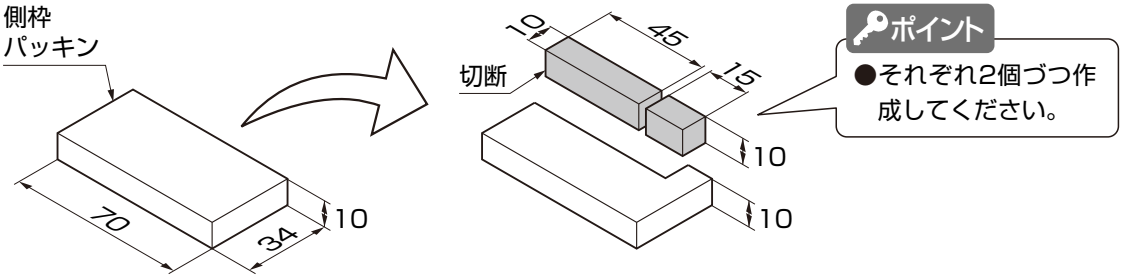


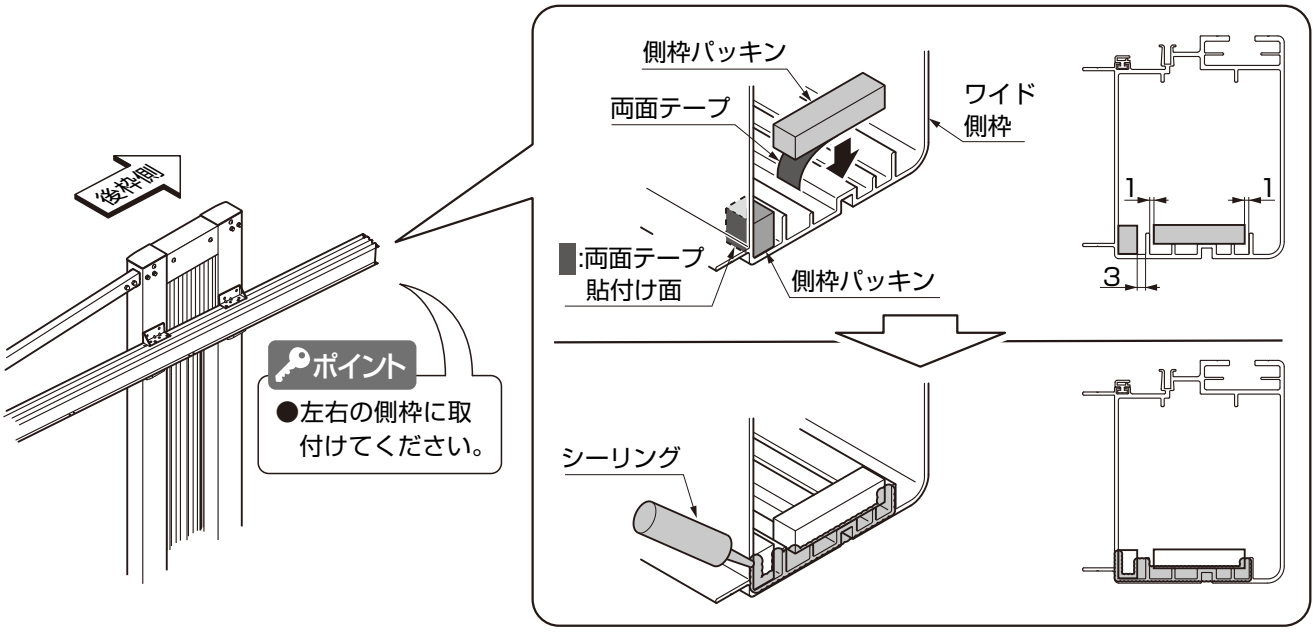
11-1 ワイド後枠の組立て



①ワイド後枠コーナーキャップにφ10の水抜き穴をあけてください。
②ワイド後枠コーナーキャップとワイド後枠にシーリングをしてください。

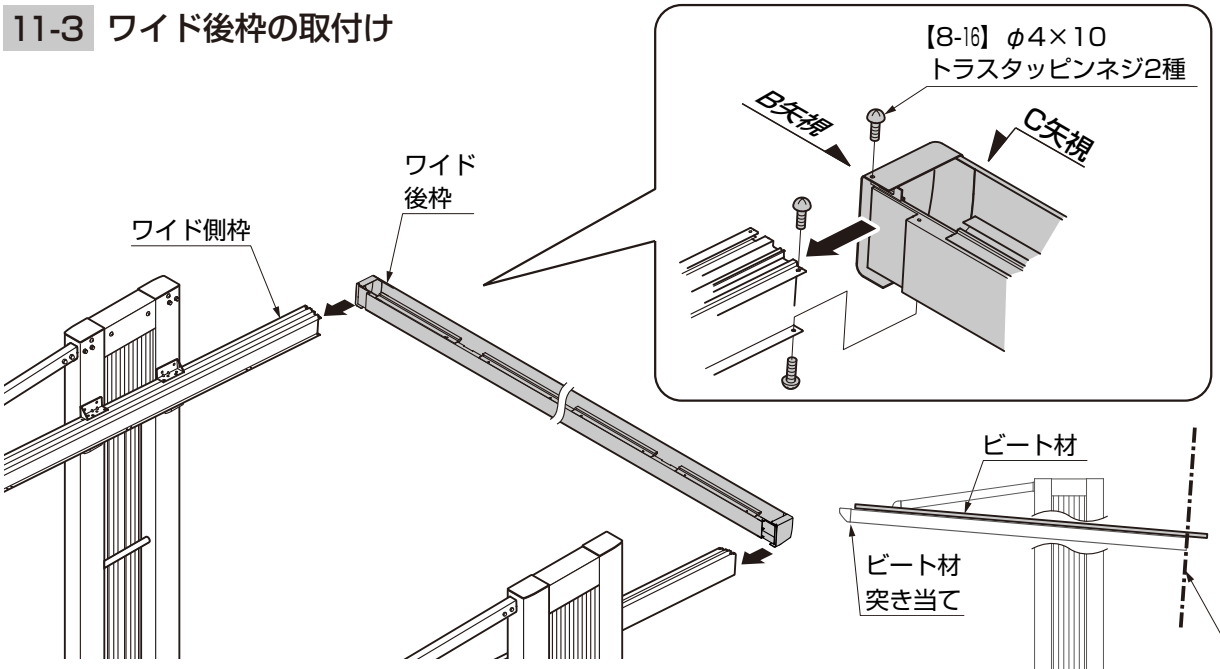
11-2 側枠パッキンの貼付け





①側枠パッキンを切断してください。
②側枠パッキンを両面テープをはがして、後枠側のワイド側枠内側に貼付けてください。
③ワイド側枠の端部にシーリングをしてください。

11-3 ワイド後枠の取付け



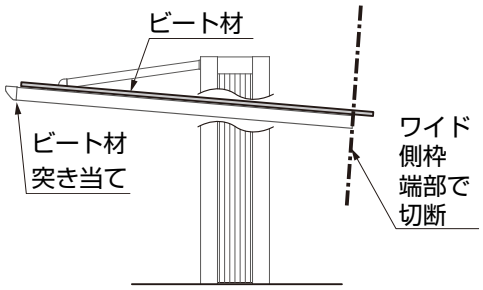
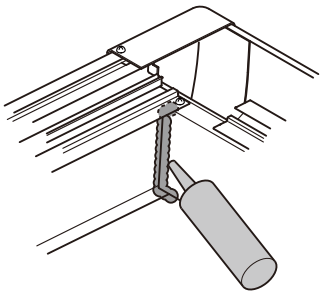


図11-1　ビート材切断方法



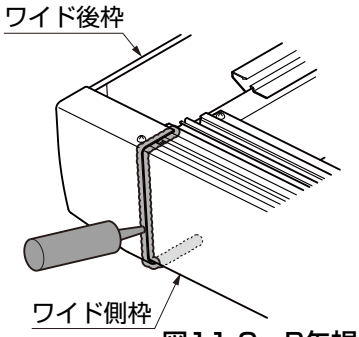


図11-2　B矢視図

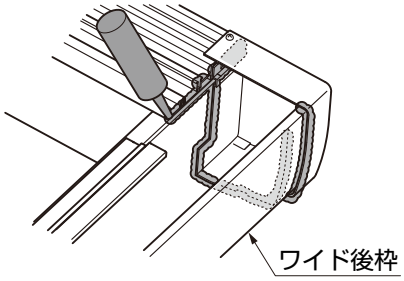
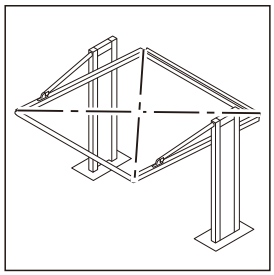
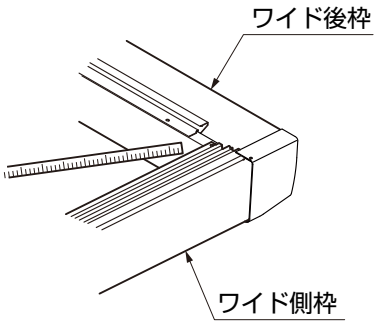


図11-3　C矢視図

①ワイド側枠に付属するビート材がワイド前枠に確実に突き当たっていることを確認した上で、ワイド後枠側のワイド側枠端部でビート材をカットして下さい。（図11-1参照）
②ワイド後枠をワイド側枠に【8-16】で取付けてください。
③ワイド後枠コーナーキャップとワイド側枠の継ぎ目、ワイド後枠とのジョイント部にシーリングしてください。

12. 対角の確認

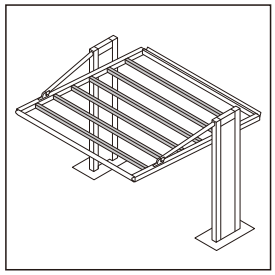




①屋根枠まわりの対角を確認してください。

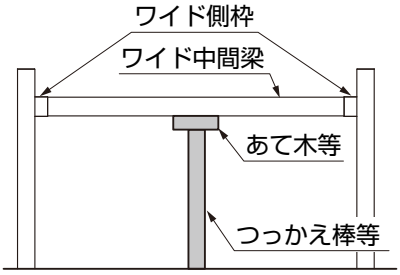
D595_201410A

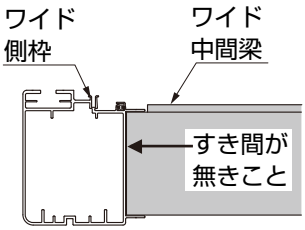
13. ワイド中間梁の取付け



ポイント

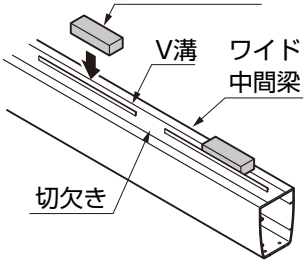
●ワイド中間梁をつっかえ棒などで水平にしてから、ワイド側枠とすき間がないことを確認した後に取付けください。





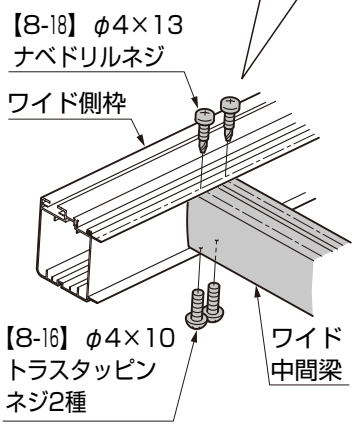
ポイント

●屋根材緩衝ウレタンはワイド中間梁の切欠きと切欠きの間に張付けてください。
●ワイド中間梁のV溝を中心に屋根材緩衝ウレタンを張付けてください。



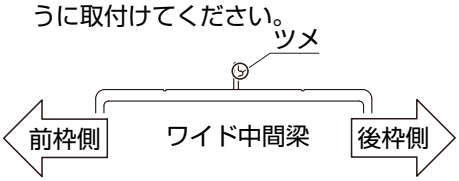
ポイント

●V溝の交差点に【8-18】を打ち込んでください。

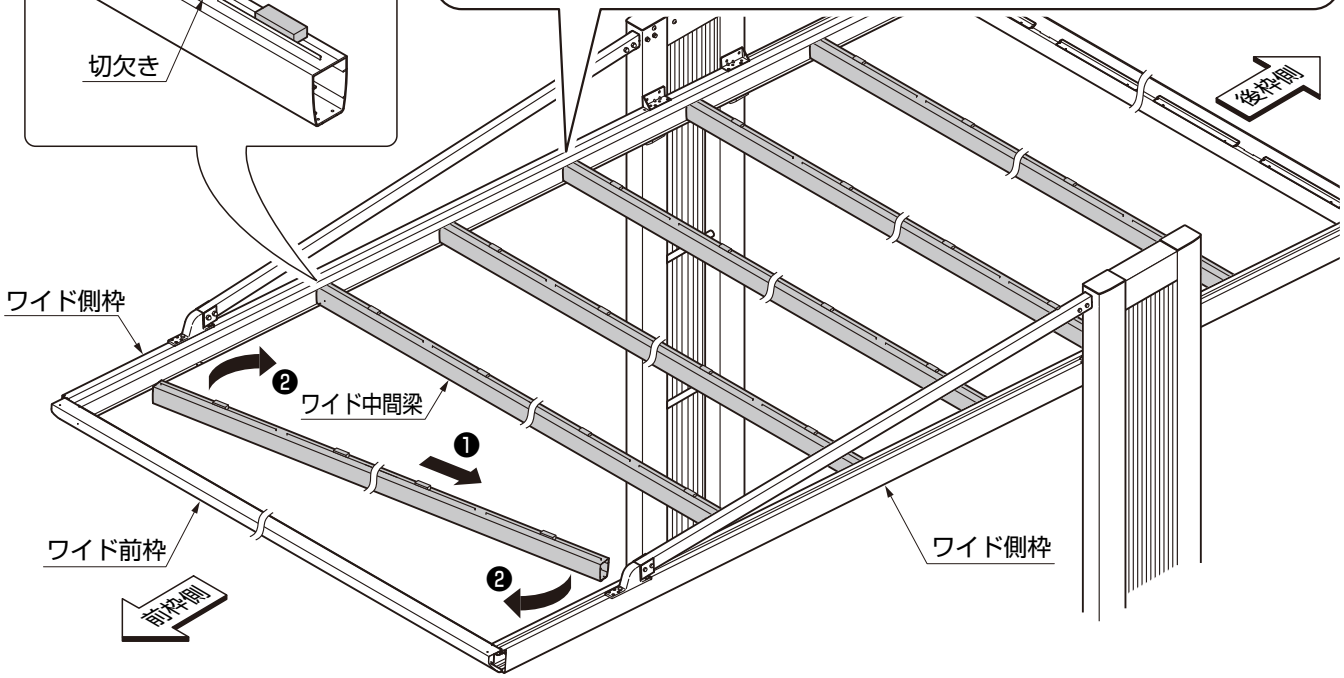


ポイント

●ツメがでている側を後枠側になるように取付けてください。



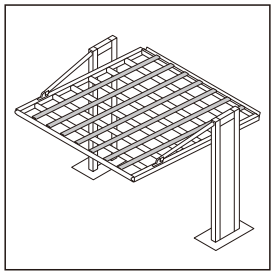
●ワイド中間梁の本数は下記となります。
・奥行50＝6本
・奥行58＝7本



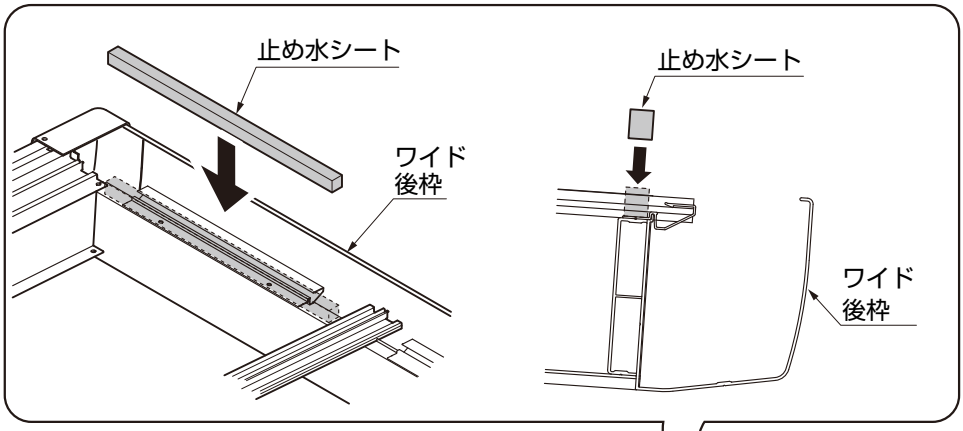
①ワイド中間梁に屋根材緩衝ウレタンを張付けてください。
②ワイド中間梁をワイド側枠に【8-16】で取付けてください。
③ワイド中間梁を水平にし、ワイド中間梁端面とワイド側枠に隙間が無い事を確認した後、ワイド中間梁をワイド側枠に【8-18】で取付けてください

D595_201410A

14. 垂木の取付け



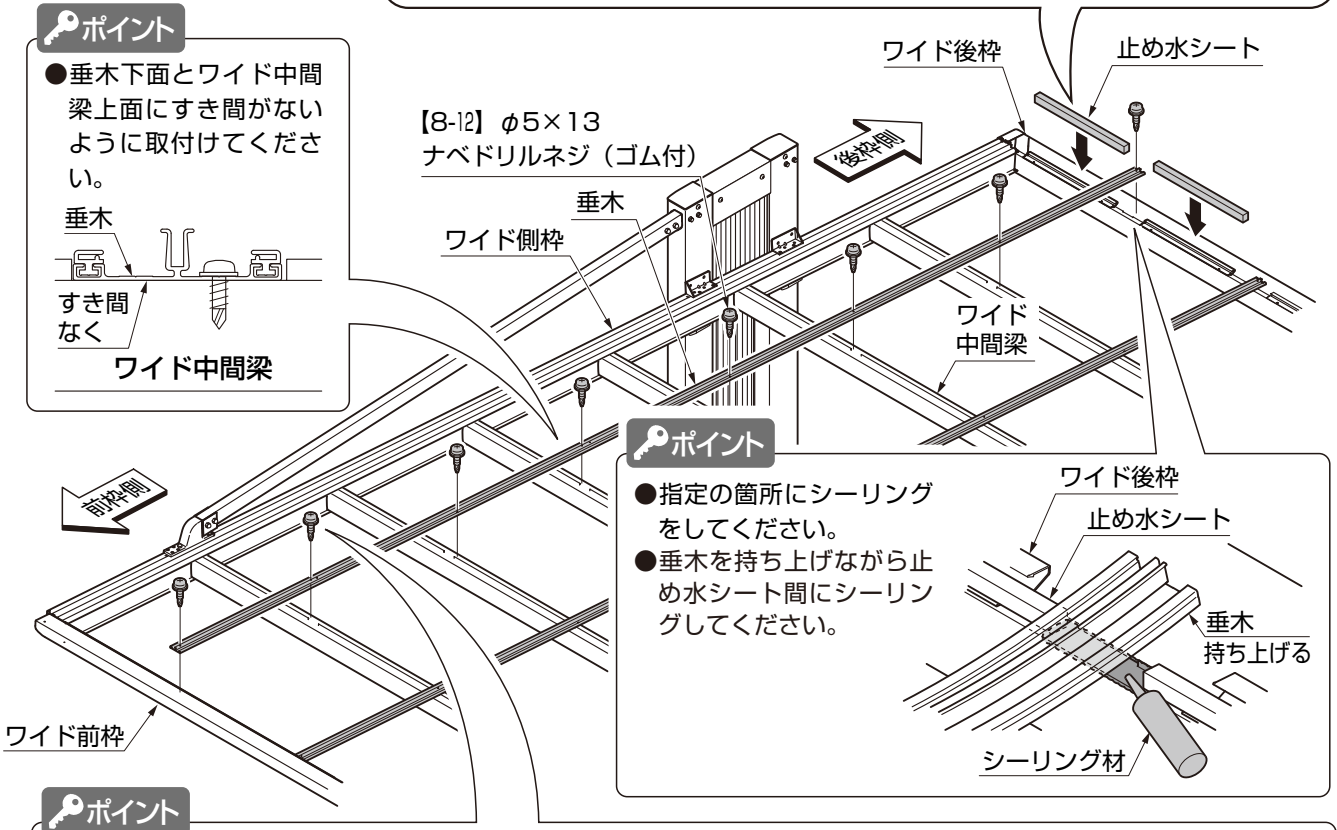
14-1 垂木の取付け



ポイント

●垂木下面とワイド中間梁上面にすき間がないように取付けてください。

ワイド中間梁

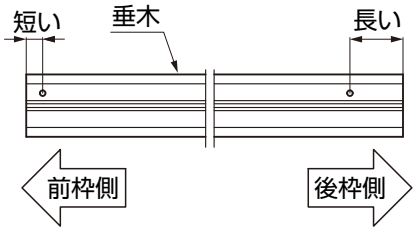


ポイント

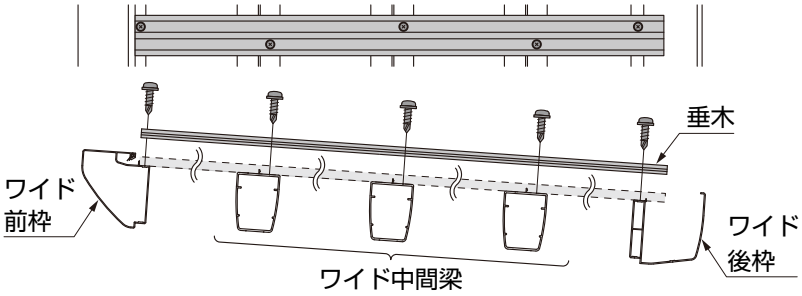
●指定の箇所にシーリングをしてください。
●垂木を持ち上げながら止め水シート間にシーリングしてください。

ポイント

●垂木には前後があります。端部からの穴位置が長い方を後枠側、短い方を前枠側にして取付けてください。



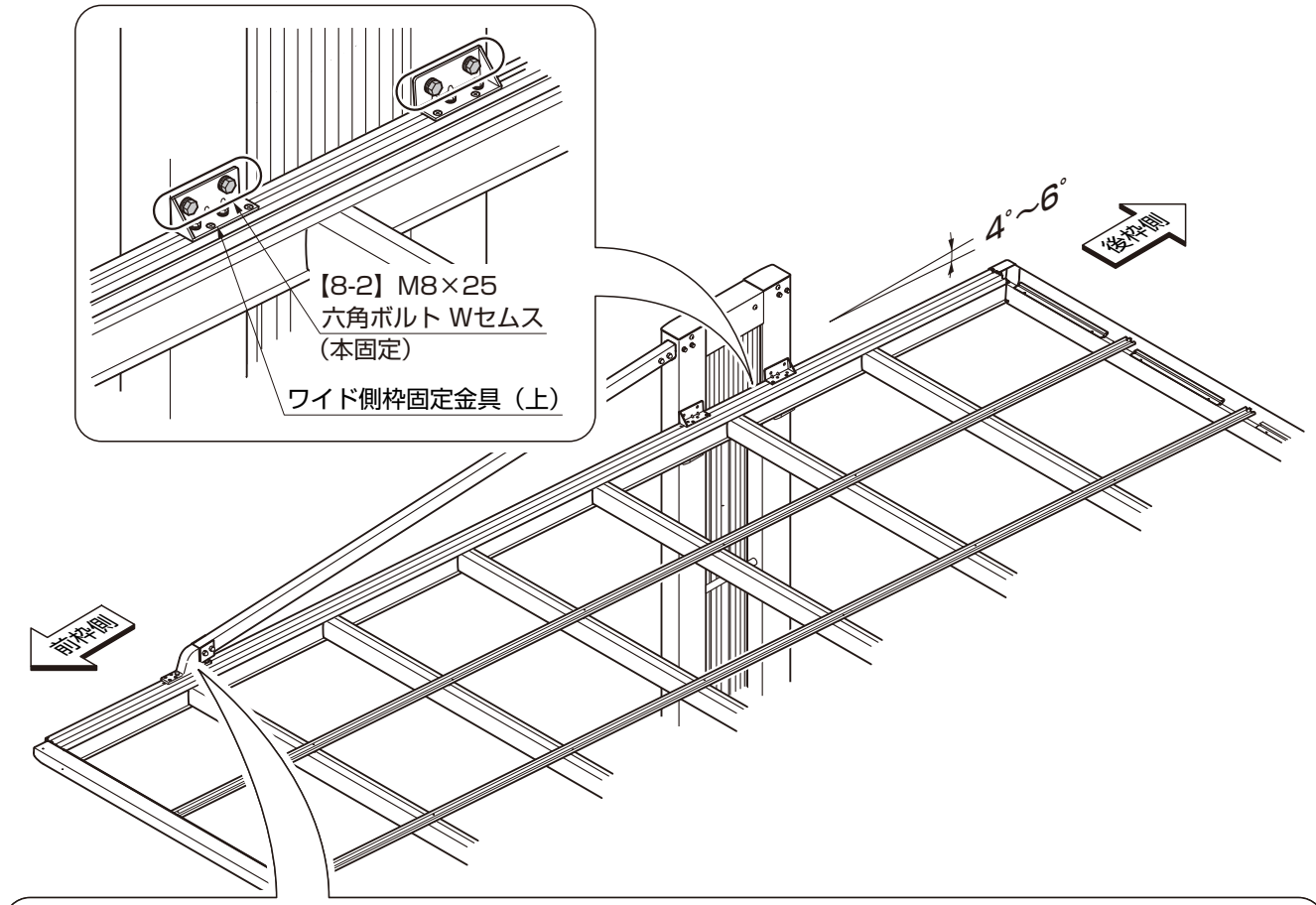
●垂木は互い違いにネジ止めしてください。他の位置では固定しないでください。

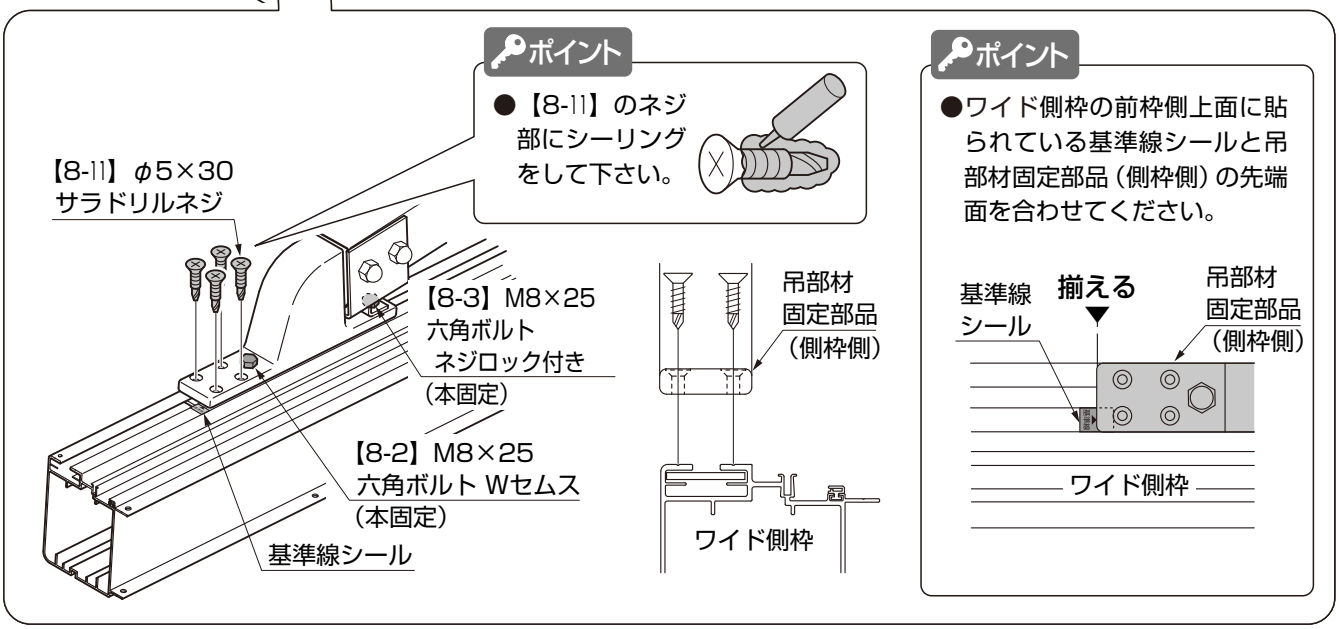


①垂木をワイド前枠、ワイド中間梁に【8-12】で取付けてください。（ワイド後枠には固定しないでください。）
②止め水シートをワイド後枠に張付けてください。
③ワイド後枠と垂木にシーリングをしてください。
④垂木をワイド後枠に【8-12】で取付けてください。

D595_201410A

14-2 屋根角度の調整

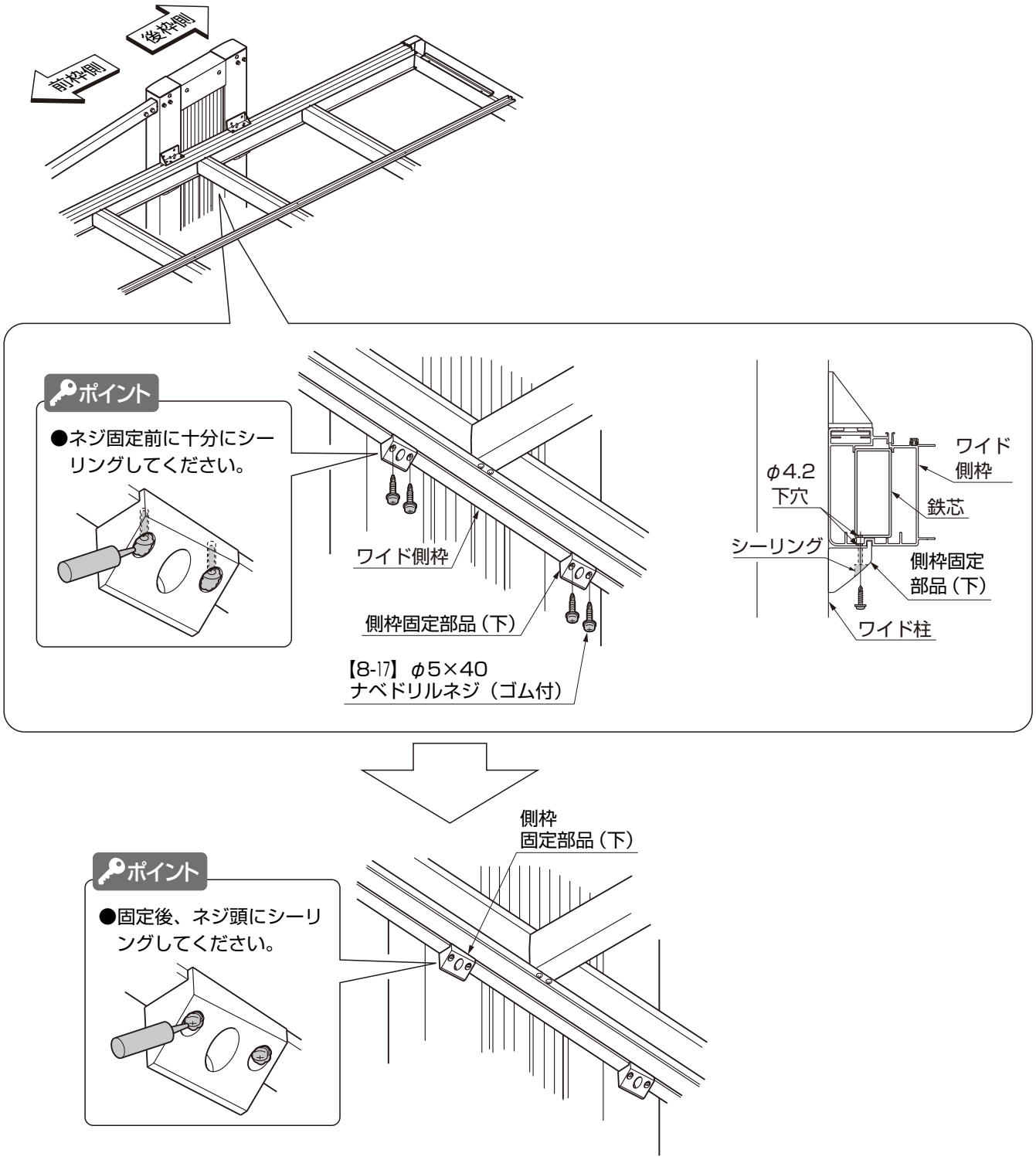




①側枠固定金具（上）の仮固定していた【8-2】を本固定してください。
②吊部材固定部品（側枠側）の仮固定していた【8-2】、【8-3】を本固定してください。
③角度計で**屋根勾配が4°～6°になっていること**を確認して下さい。
④【8-11】のネジ部にシーリングをして下さい。
⑤吊部材固定部品（側枠側）を側枠裏板（吊部）に【8-11】で取付けてください。

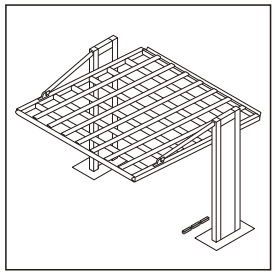
14.（つづき）

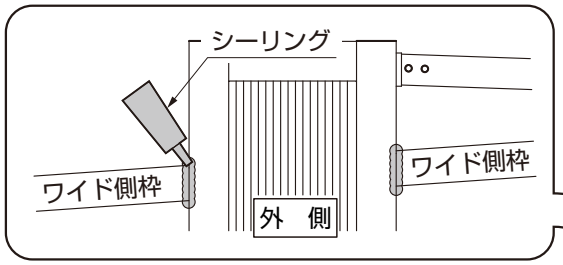
14-2 つづき

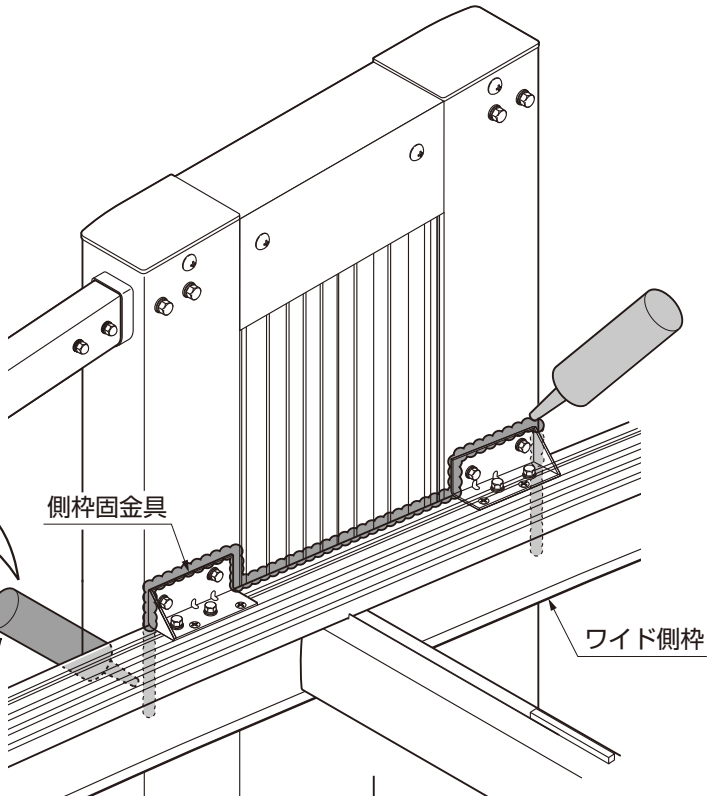


⑥ワイド側枠、鉄芯にφ4.2の下穴をあけてください。
⑦側枠固定部品（下）と側枠固定部品（下）ワイド前柱用の、ワイド側枠下面へ通じるネジ穴部に十分にシーリングをしてください。
⑧側枠固定部品（下）と側枠固定部品（下）ワイド前柱用とワイド側枠を【8-17】で固定してください。
⑨固定した【8-17】のネジ頭にシーリングをして下さい。

15. 化粧パネル止水パッキンの取付け

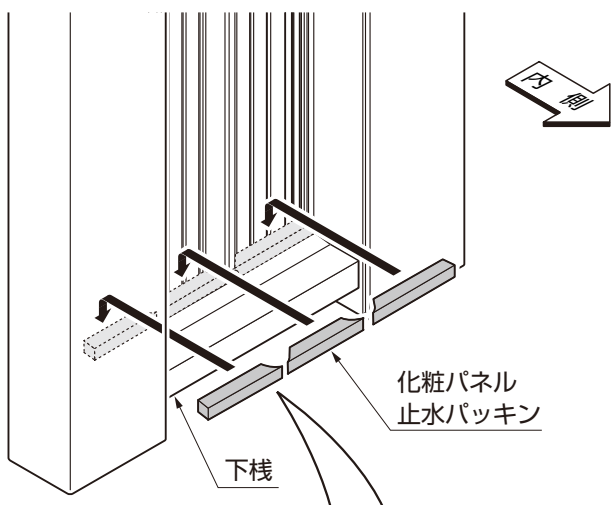


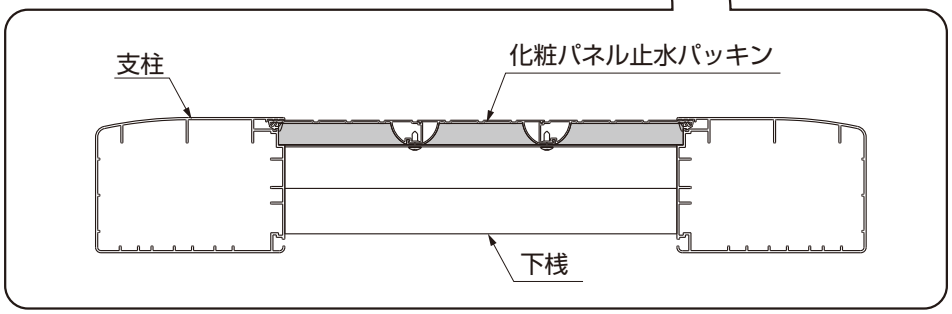




ポイント

●シーリングが不十分の場合、雨漏りの原因となります。シーリングは完全に行なってください。

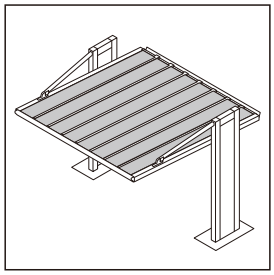


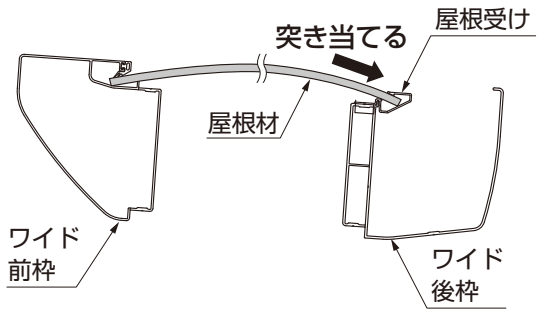


①図の箇所にシーリングをしてください。
②化粧パネル止水パッキンを化粧パネルの内側と下桟のすき間に張付けてください。

D595_201410A

16. 屋根材の取付け





注 意

●屋根材が後枠側屋根受け部に完全に差込まれていないと、吹き上げによる風圧で屋根材が外れるおそれがあります。

ポイント

●屋根材は、後枠側の屋根受け部に突き当て、完全に差込んでください。

ポイント

●屋根材には太陽の当る側（外側）と太陽の当らない側（内側）の区別があるものがありますので、確認の上取付けてください。

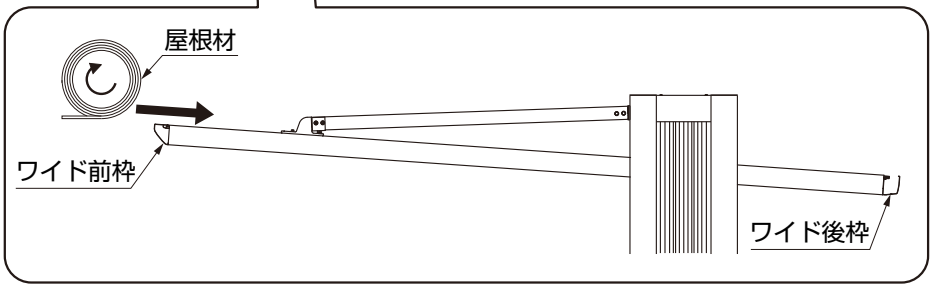
屋根材

ワイド後枠

後枠側

前枠側

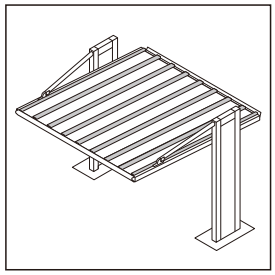
ワイド前枠



①屋根材の養生シートをはがし、屋根材を丸めた状態で垂木の上にのせてください。
②屋根材を前枠側から後枠側に張ってください。

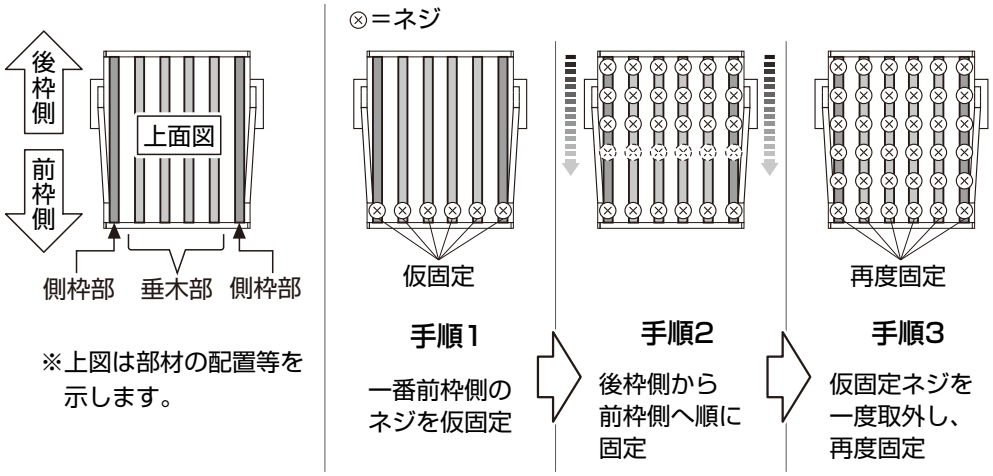
D595_201410A

17. 垂木カバーと側枠カバーの取付け



ポイント

●カバーの取付け方法は下記を参照して取付けてください。



※上図は部材の配置等を示します。

注 意

●ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
・φ4ネジ：2.5N·m±0.5N·m（25±5kgf·cm）

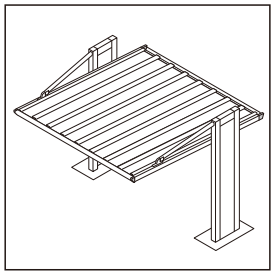
【8-13】φ4×10 ワッシャーヘッドネジ2種
【8-14】φ4×10ワッシャーヘッドネジ 2種（ゴム付）
ワイド側枠
側枠カバー
垂木カバー
垂木
後枠側
前枠側
【8-14】φ4×10ワッシャーヘッドネジ 2種（ゴム付）
側枠カバー
ワイド側枠
【8-13】φ4×10 ワッシャーヘッドネジ2種
垂木カバー
垂木
側枠カバー または 垂木カバー
ワイド前枠
シーリング

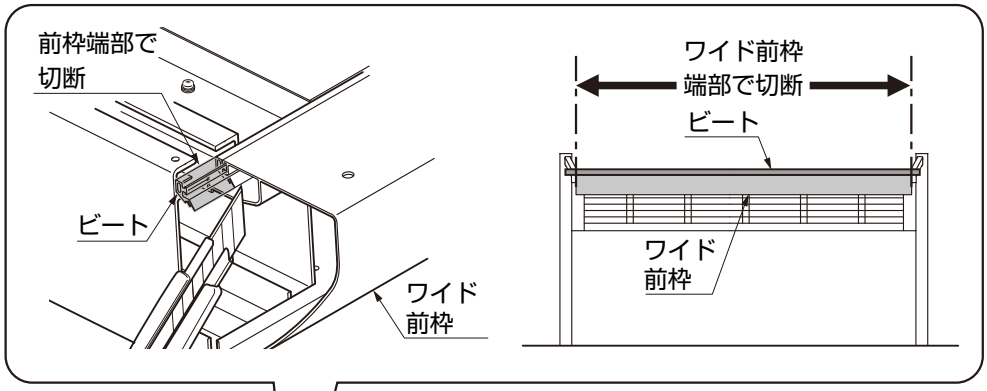
注 意

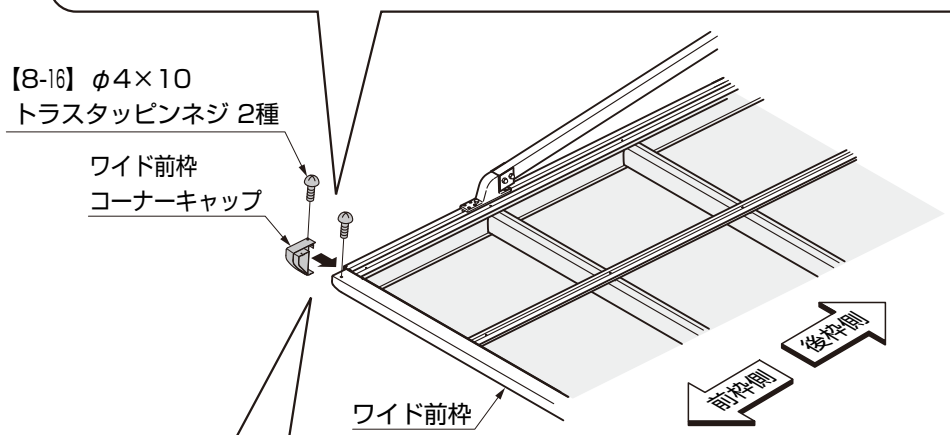
●垂木カバーと側枠カバーは、たるみがないように取付けてください。

①垂木カバーを垂木に【8-13】で取付けてください。
②側枠カバーをワイド側枠に【8-14】で取付けてください。
③ワイド前枠と垂木カバー、側枠カバーのジョイント部にシーリングをしてください。

18. ワイド前枠コーナーキャップの取付け







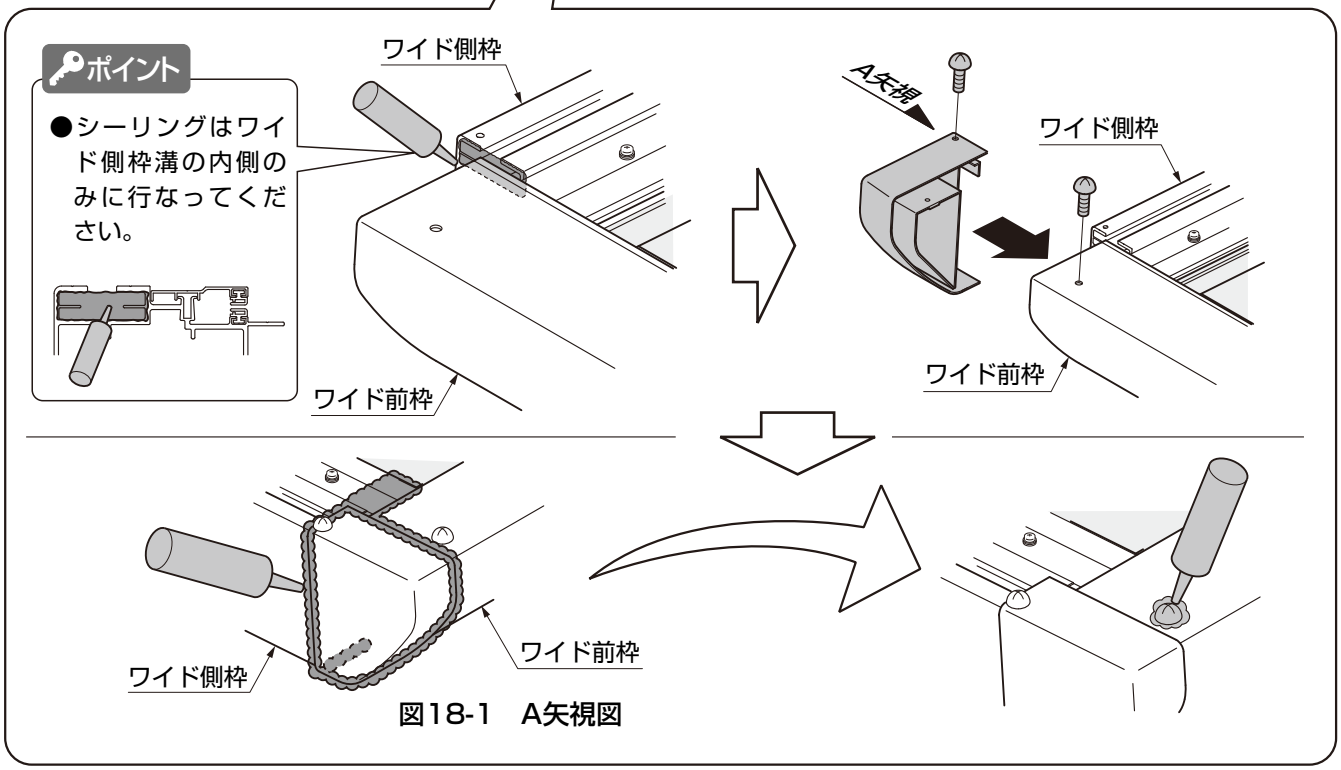


図18-1　A矢視図

①ワイド前枠に付属するビート材をワイド前枠両端部で切断して下さい。
②ワイド側枠にシーリングをして下さい。
③ワイド前枠コーナーキャップを、ワイド前枠に【8-16】で取付けてください。
④ワイド前枠コーナーキャップとワイド側枠の繋ぎ目、ワイド前枠とのジョイント部、組付けネジ頭にシーリングしてください。

D595_201410A

19.竪樋の取付け

パッキン
アタッチメント
【8-9】φ4×19
ナベドリルネジ
ワイド後枠
ドレンエルボ
樋
接着剤
エルボ
切断寸法B
【8-9】φ4×19
ナベドリルネジ
サドルB
竪樋
切断寸法A
サドルA
エルボ

ポイント
●指定の箇所にシーリングをしてください。
シーリング

表19-1　竪樋切断寸法

H	A
標準	1766
ロング	2066

L	B
50	988
58	1187

①竪樋を切断してください。
②ワイド後枠にアタッチメントとパッキンを【8-9】で取付けてください。
③サドルBを支柱に【8-9】で取付けてください。
④サドルAを竪樋に差込み、サドルBに取付けてください。
⑤アタッチメント、エルボ、ドレンエルボ、受け樋に接着剤を塗布し接続してください。
⑥もう片方も同様に取付けてください。

ポイント
●受け樋の切断長さは、支柱の取付け位置により異なります。支柱位置を変更した場合は現場で調整し加工してください。

取説コード

D595

JZZ629744
201410A_1039